

ツツジコナジラミ

春から秋にかけてツツジ類に発生する。葉裏に長さ1～1.5mmの黄色の楕円形のもの多数つく（蛹、抜け殻は半透明になる）。また、1mmほどの白い虫（成虫）がいて、刺激すると活発に飛び回る。

庭などで多発することがある。煤病を併発するので木が汚れる。

【学名】 *Palius azaleae*

【分類】 カメムシ目（Hemiptera），コナジラミ科（Aleyrodidae）

【分布】 本州，四国，九州；ユーラシア，オセアニア。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ツツジコナジラミ hoka/tutujiko/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂，北海道立林業試験場，2001/8/16.